

Q&A

一般質問

野角 満昭 議員

無所属



角山環境センターごみ焼却場
改修費用の見積もりの根拠は

Q 15年以上の施設延命が図られるという長寿命化の概算工事が、煙突更新を含めて約34億円となる算定根拠は。

A 工事費の積算内容については、坂出、宇多津広域行政事務組合が平成28年度に「ごみ処理方針検討業務」において依頼した見積提案書の概算額です。この時点で15年間施設を停止することなく運営するために必要と考えられる長寿命化工事30億円と煙突改修工事4億円を合計した金額です。

なお、現在、施設の老朽度等を踏まえながら、長寿命化を図る上で、更新等の重要度が高い設備・機器等を評価し決定し、詳細な工事費を算定していくと聞いています。

また、長寿命化工事の施工後も定期的に設備のメンテナンスを行うとともに、さらなる可燃ごみの減量化を進めることにより施設の延命化を図る必要があると考えています。

(市民生活部長)

補聴器使用による認知症
発症リスクの改善効果の
認識と補助制度の創設は

Q 補聴器使用による認知症発症リスクの改善効果についての認識を伺うとともに、補聴器購入の補助制度の早期創設を求めます。

A 国において策定された新オレンジプランには、聴力の低下に伴い、脳に届く音の刺激が減少することで認知機能が低下するおそれがあることから、難聴もその要因の一つとされています。

また、公的助成制度としては、高齢者を含め、聴覚障がいのある方が、医師の処方に基づき、市が補聴器購入費の助成を行う制度があります。

なお、身体障がい者手帳をお持ちでない方を対象とした補助制度については、厚生労働省が平成30年度から開始した研究報告や国の施策等の動向に注視していきたいと思えます。

(健康福祉部長)

質問の項目
主な
・ 新型コロナウイルス感染症に
対する今後の施策について
・ 中小企業・小規模企業振興基
本条例に伴う振興策について

東原 章 議員
市民グループ未来の会



本市における市民や職員の
感染症防止対策は

Q 特別定額給付金の申請のために多くの市民が来庁されたと思うが、市民や職員の感染症対策は。

A 本市では、現在、新型コロナウイルス感染症対策として、本庁舎の出入り口に手指消毒液を設置するとともに、本庁舎の各課窓口には、飛沫感染防止のためにアクリル板を設置しています。また、全ての職員に市民対応時のマスクの着用を徹底するなど、来庁者や職員の飛沫感染防止に努めています。

特別定額給付金のオンライン申請が開始された5月初旬、中旬にはマイナンバーカードに関する手続きのために、多くの市民が来庁され、市民課の窓口が大変混雑しましたが、来庁者の協力により、著しい密集状態までには至らなかったと認識しています。今後引き続き、来庁される市民の皆様や職員の飛沫感染の防止に努めていきます。

(総務部長)

新型コロナウイルス感染症
によるイベントへの影響は

Q 一生に一度の行事といえる成人式の開催はどう考えているか。

A 成人式については、二十歳を迎えた若者を社会全体で祝福するとともに、新成人に今後の社会を支える一員として自立し、責任を自覚してもらう機会を提供することを目的として開催しています。

今年度についても、「はたちの祭典企画運営委員会」の立ち上げの準備を現在行っており、8月には、この委員会において、成人式の開催に向けた1回目の会議を行う予定とされています。

しかし、成人式の開催にあたっては、新型コロナウイルスの感染状況を見極めながら、その可否について判断しなければなりません。判断しなくても、新成人が安心して、成人式に参加できるよう適切な感染予防策を講じるなど、開催に向けて準備を進めていきたいと考えています。

(教育部長)